

No.206
2024年2月1日
滋賀県竜王町議会

りゅうおう

議会だより

親子の絆^{きずな}

育む心

輝く笑顔

定例会報告 P2～ 物価高対策・令和4年度決算

委員会報告 P7～ 住民窓口のワンストップ化

一般質問 P10～ インフルエンザ対策・フリースクール

12月
定例会

生活支援

令和5年度 補正予算



前回の3万円割引クーポン券に次ぐ低所得世帯対策

電力・ガス・食料品等価格高騰支援事業として、低所得世帯に対して1世帯あたり7万円を追加給付（700世帯分）等。
補正額5188万円。

物価高騰支援



庁舎西側便所（完成済）

総合庁舎便所（東側）等改修工事（6926万円）
経年劣化による詰まり、悪臭の発生等が著しいため改修を行う。併せて、バリアフリー化のため、和式便所を洋式化する。

トイレがきれいに

問 日野川沿川の近江八幡市側の堤防は下側まできれいに刈られているが、竜王町側の伐竹されていない箇所は対処できないか。

答 地域から要望があれば県に伝え、その後は地域での対応について相談する。



日野川堤防 左岸法面

12月定例会の あらまし

12月定例会が12月4日から22日までの19日間の会期で開かれた。
本会議2日目に、条例4件、補正予算6件、町道路線の変更1件を可決し、意見書1件を採択した。令和5年度一般会計補正予算、令和4年度一般会計及び特別会計決算認定6件を予算決算常任委員会に、指定管理者の指定につき議決を求めることについて12件の審査を総務産

業建設常任委員会に付託した。
その後、8日から15日にかけて常任・特別委員会を開き、付託案件を審査し、各所管事務調査を実施した。
本会議3日目に一般質問を行い、11議員が町政をただした。
最終日に本会議を開き、20議案を原案通り可決・認定した。

質疑

物価高による

一般会計補正予算（第5号）の主な内容

(歳出)	(単位：万円)
就学前児童誕生祝報償費 10,000円／人	60
通学定期補助金	60
河川愛護作業補助金（追加分）	194
修繕費（幼稚園・中学校）	161
ため池詳細調査（耐震）業務委託料	2000
消防用ホース乾燥塔移設工事	203
住民基本台帳システム等改修委託料 氏名にふりがなを入れる	686

一般会計補正予算（第6号）の主な内容

(歳出)	(単位：万円)
町道道路改良・舗装他工事 (山之上地先 殿山線、山面地先 鏡七里線)	5705

債務負担行為補正の主な内容

(単位：万円)	
町立園学校健康診断業務	289
通園通学児童輸送業務（スクールバス）	3448

各会計補正予算

※議決の内容：全員賛成で可決 ◎印、賛成多数で可決 ○印

一般会計	
(第5号) 4億4430万4千円を追加、79億1303万9千円に	◎
(第6号) 7153万8千円を追加、79億8457万7千円に	○
国民健康保険事業特別会計（事業勘定）（第2号） 659万2千円を追加、12億8612万円に	◎
国民健康保険事業特別会計（施設勘定）（第1号） 医科：83万6千円を追加、393万6千円に 歯科：26万4千円を減額、5233万6千円に	◎
学校給食事業特別会計（第2号） 333万7千円を追加、6259万2千円に	◎
介護保険特別会計（第2号） 1187万1千円を追加、10億4949万4千円に	◎
水道事業会計（第3号） 3条予算・収益的収支 17万5千円を追加、3億2145万7千円に	◎
下水道事業会計（第2号） 3条予算・収益的収支 53万4千円を追加、5億856万7千円に	◎

ふるさと納税 増加

寄附の増加に伴い「未来になぐふるさと交電基金積立金」1億5000万円を増額するとともに、返礼品や手数料等の費用として、7404万円を増額する。



人気のある近江牛と近江米



繰りこしめいきよひ
繰越明許費

年度末までに事業が終了しないために
次年度まで持ち越す事業

・総合庁舎便所（東側）等改修工事 6926万円

・ため池（山之上・長池）詳細調査（耐震）業務 2000万円

・道路橋梁整備事業 5760万円

（山之上地先 殿山線・山面地先 鏡七里線）

どう活かされた？

令和4年度 決算

新型コロナウイルス感染症がやや緩和

物価高騰対策 生活者・事業者支援

令和4年度決算は、12月13、14、15日の3日間にわたり、施策や事業などのチェック、次年度予算へ反映するための今後の課題などについて予算決算常任委員会で審議した。

今回は、くらし、教育、福祉、生活環境、土木などの主な施策・事業を中心に紹介する。

地域おこし協力隊、 委嘱

竜王町の特産品開発や販売促進を目的に協力隊を募集。結果、令和4年7月から義本健太さんがビールを新たな特産品として、まちおこしの活動をされている。



滋賀国スポ大会(2025年) スポーツクライミング 競技開催

スポーツクライミング競技の教室等の開催や特定強化選手の手育成、ボルダリングジムの整備をした。



ドラゴンボルダリングジムが完成

一世帯5万円の給付

住民税非課税世帯6000世帯に、食料品等価格高騰緊急支援を実施した。



物価が高くなり困っています

不法投棄が頻発

不法投棄が後を絶たず啓発看板を設置。41件を確認し回収した。



環境監視員によるパトロールで、不法投棄の根絶（山中地先）

橋梁修繕

町内の道路改築、舗装改良、橋梁修繕および法面修繕などを実施した。



修繕した竜王大橋（小口地先）

私たちの税金

令和4年度一般会計および特別会計決算額（単位：万円）				議決の内容
会計名	歳入		歳出	
一般会計	73億1399		67億869	賛成多数により認定
国民健康保険事業特別会計（事業勘定）	11億4586		11億3028	全員賛成により認定
国民健康保険事業特別会計（施設勘定）	医科 歯科	1198 5596	医科 歯科 1198 4903	全員賛成により認定
学校給食事業特別会計	6164		5815	全員賛成により認定
介護保険特別会計	10億1235		9億4825	全員賛成により認定
後期高齢者医療特別会計	1億3254		1億3213	全員賛成により認定

審査の意見

・町監査委員の審査の結果と意見（要旨）
 決算内容は相対的に大きな不用額がある項目もあったが、ほぼ適正に運営されている。
 今後各部署で経費節減に向け、さらに分析を行い具体的な成果につながることを期待する。
 最後に、行財政改革ならびに業務の効率化を図り、住民福祉の向上に努められることを期待する。



新しくなった学童保育所

旧竜王西幼稚園跡を西小学校区の学童保育所として活用するため改修した。

学童保育所、
施設改修



認知症サポーター養成講座

認知症地域支援推進員を中心に、住み慣れた場所で安心して生活ができる地域づくりを実施した。

認知症予防・
地域づくりへ

質疑

問 英語教育推進事業ではイングリッシュキャンプを実施しているが、習った英語を他にも活用できる機会はあるのか。

答 夏休みには子ども英語スピーチ大会を開催。また、両小学校ではオンラインを通じて、ALT（外国人の指導助手）と話す時間を取って、会話を通じて英語力が向上するよう工夫している。

問 介護予防の事業が行われている関係で、要介護認定率が下がっていると思うが、どのような傾向か。

答 ここ数年は、75歳から79歳までの方々の要介護認定率が下がっており、病気はあったとしても元気に自立して暮らしておられる。

令和6年4月1日からの

町内各施設の指定管理者が決まる

12月22日、定例会最終日に、付託した「指定管理者の指定につき議決を求めることについて」の12議案を原案通り全員賛成で可決した。



指定管理者制度とは
公の施設の管理運営を、株式会社や財団法人・NPO法人などの団体に包括的に代行させることができる制度だよ。



【社会福祉法人 竜王町社会福祉協議会】

竜王町介護予防拠点施設

- ・鏡ふれあいプラザ
- ・弓削ふれあいプラザ
- ・鵜川ふれあいプラザ



【公益社団法人 竜王町シルバー人材センター】

竜王町シルバーワークプラザ



【医療法人 滋賀家庭医療学センター】

あえんぼクリニック



【公益財団法人 竜王町地域振興事業団】

竜王町農村運動広場
竜王町雪野山史跡広場「妹背の里」
竜王町総合運動公園
ドラゴンハット、スポーツセンター、ボルダリングジムなど
竜王町地域産業研修センター
竜王町介護予防拠点施設
・岡屋ふれあいプラザ



【株式会社 みらいパーク竜王】

竜王町農林公園施設
・交流促進施設「ふれあい広場」
・産地形成促進施設「産地直売所」
・農村水辺修景施設「エビス池公園」
・農産物処理加工施設など
農村田園資料館
竜王町農村環境改善センター
道の駅竜王かがみの里

委員会での意見

総合運動公園の施設運営には、予約や施設の修繕など、さらなる改善の機会があり、利用者視点を大切にサービスの質の向上への努力を続けていただきたい。

竜王町の温暖化対策は

本町では、環境基本条例第10条により平成28年3月に「環境基本計画」を策定し、良好な環境の保全および創造に関する施策を総合的かつ計画的に推進してきた。そこで、以下のテーマで12月8日、総務産業建設常任委員会において所管事務調査をし、概要の説明を受けた。

調査 第2次竜王町環境基本計画策定状況

【環境未来像】 さあ！ 環境新時代へ！ ともにつなぐ輝竜の郷

〈計画趣旨〉

平成26年制定の竜王町環境基本条例に基づき、社会情勢や本町を取り巻く課題に対応し、将来世代に豊かな生活を引き継ぐ「持続可能なまちづくり」を町民、地域、団体、事業者、行政が一体となって進めるため、竜王町環境審議会の意見を伺い策定する。

〈計画期間〉

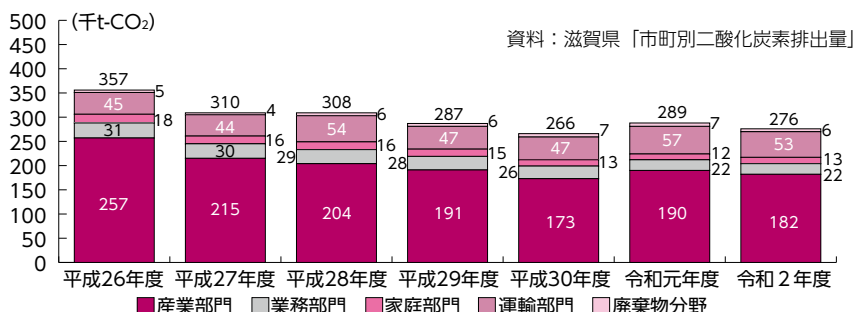
令和6年度から令和14年度までの9年間とし、必要に応じて随時、計画の見直しをする。
計画内の「地球温暖化対策実行計画」は令和12年度に達成状況を確認・評価する。

基本目標（具体的な取組事項）

- (1) **自然環境** — 自然によりそい、自然を守ろう
- (2) **生活環境** — 安全・安心で快適な生活環境を作ろう
- (3) **資源循環** — 資源循環を進めよう
- (4) **人づくり** — 環境学習を拡充させよう
- (5) **地球環境** — 気候変動対策を進めよう

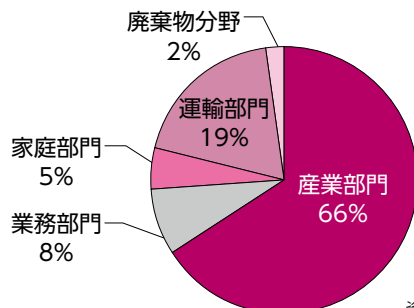
本計画の目標 令和12(2030)年度	令和12(2030)年度の竜王町域の二酸化炭素排出量を平成25(2013)年度比で50%削減
長期目標 2050年度	二酸化炭素排出量実質ゼロ実現

■ 町内の温室効果ガス排出量 令和2(2020)年度



本町における温室効果ガス排出量は、平成26(2014)年度の357千t-CO₂をピークに減少に転じ、令和2(2020)年度現在では276千t-CO₂まで減少している。

■ 町内の部門別温室効果ガス排出割合 令和2(2020)年度



令和2(2020)年度の温室効果ガス排出量のうち約7割が産業部門からで、産業部門の排出の占める割合が高くなっている。

資料：滋賀県「市町別二酸化炭素排出量」

主な質疑応答

問 削減目標はどのように計算し、数値化しているか。町全体の削減する目標はあるのか。

答 削減目標は国、県の動向を見て各市町も足並みを揃えて、2050年度までにCO₂排出ゼロの目標を表明しており、竜王町も同様の目標を定めている。

相談・手続き、これからはここ1か所で

本町では、住民課、福祉課、健康推進課、自立支援課の4課を庁舎1階に集約して対応すること（ワンストップ化）で、住民の利便性向上と効果的な相談支援体制の構築強化を図るための改修工事を計画している。そこで、12月8日、教育民生常任委員会において以下の所管事務調査を実施した。

調査 住民対応窓口のワンストップ化

●コンセプト

- ①ワンストップで誰もが利用しやすい空間 ②人にやさしいストレスフリーな空間
③明るく親しみやすい空間 ④機能的で動きやすい空間

●庁舎1階事務室等の改修計画

- ・来庁者の利便性に配慮した各課の配置、円滑な各課連携、サイン表示による誘導
- ・プライバシーが守られる相談窓口の設置、キッズスペース（場所未定）の設置
- ・来庁者にやさしい明るい色調の壁紙、温かみを感じるカーペット敷詰、LED照明

●経年劣化および庁舎環境改善の工事

- ・正面玄関外壁、町民室の修繕、当直室・休憩室の整備、敷地内舗装など

●スケジュール

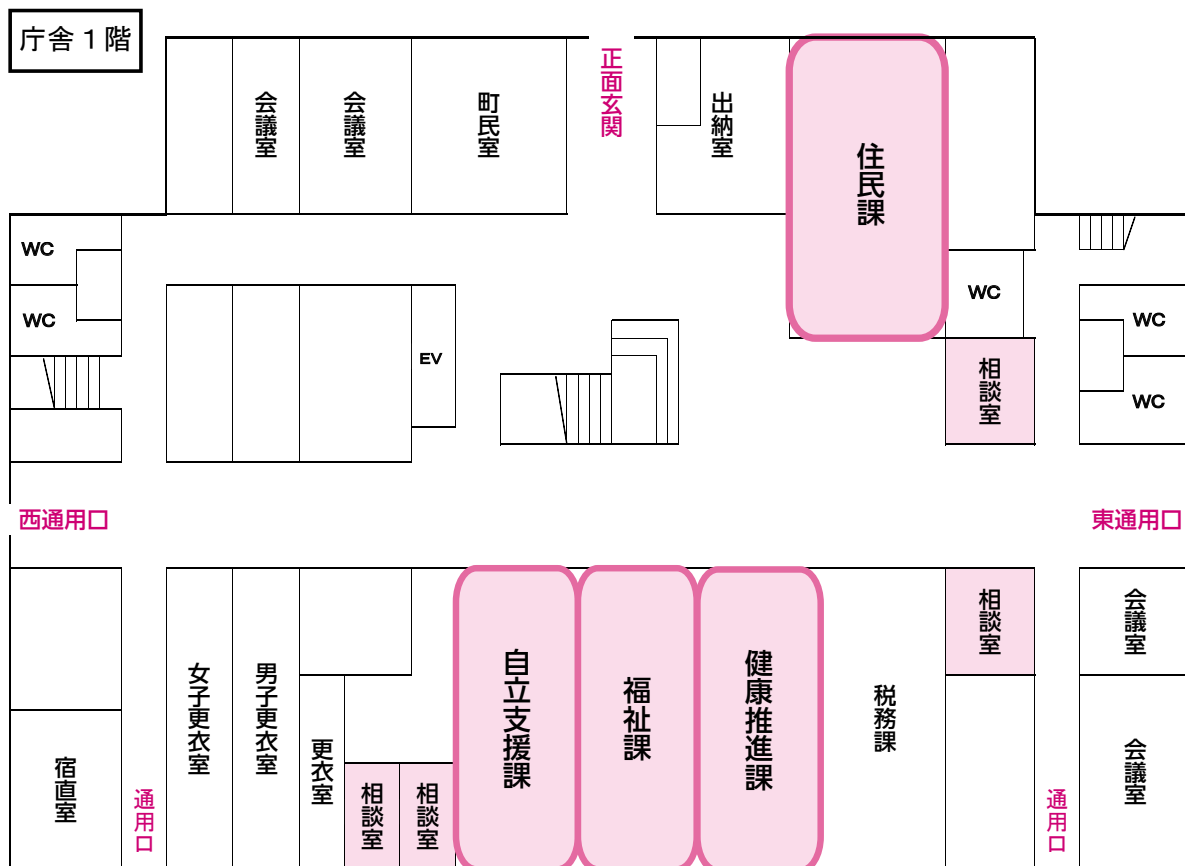
令和6年3月に令和6年度当初予算を上程し、7月下旬頃に工事入札・改修工事を着工予定。

令和7年度の夏頃に住民福祉部門の移動を予定している。

●保健センター・福祉ステーションの利活用（案）

- ・保健センター 健診等の事業は引き続き保健センターで実施し、社会福祉協議会が1階事務室に移転する。
- ・福祉ステーション 現在、公民館にある発達支援センターは、利用する子どもの安全確保の観点から福祉ステーションに移転する。

ワンストップ化後の庁舎１階配置図（予定）



中心核の道路工事はじまる

12月12日、地域活性化特別委員会で、中心核整備（交流・文教ゾーン）の進捗状況と道路工事について説明を受けた。



中心核整備（交流・文教ゾーン）の進捗

● 主な経過

- 9月1日 埋蔵文化財本発掘調査着手
- 10月3日 土地収用法に基づく事業認定
- 16日 土地売買仮契約締結
- 11月8日 道路工事入札
- 17日 竜王町総合庁舎周辺の地区計画変更決定
- 27日 第2回定例区長会にて事業説明
- 28日 商工会行政懇談会にて事業説明
- 30日 竜王町経済交竜会にて事業説明
- 12月6日 道路工事に伴う地元説明会
- 11日 竜王町農業委員会総会（農地転用許可申請の審議）

● 今後の予定

- ・ 道路工事着手
- ・ 開発本申請、許可
- ・ 農地転用許可
- ・ 造成工事入札、議会議決、工事着手

● 道路工事の概要

- 受注者 谷口土木・畑中技研建設工事共同企業体
- 工事期間 令和5年12月13日
～令和6年3月29日（予定）
- 通行制限 令和6年1月8日より終日通行止め
- 工事休日 原則、第2土曜日・日曜日



事業用地の現地視察

主な質疑応答

問 道路工事、次いで造成工事となることから、現状の竜王小学校児童の通学路について検討されていると思うが安全対策をどのように考えているのか。また、通学路変更に伴う周知は。

答 町道東西線北側の歩道に通学路を変更する。学校を通じて保護者の方々への周知に努める。

議員定数等見直し・子ども議会開催

12月12日、議会改革特別委員会を開き、以下のテーマについて今後、議論・実施していくことにした。

【主な議題と結果】

- (1) 議員定数等の見直し
 - ・ 民意を議会に反映させるため、安易な定数削減はするべきでないとの意見が大勢だが、定数削減を求める町民の声もあり、町民の理解を得る方策も含め慎重に議論を重ねる。
 - ・ 議員報酬については議員定数と別問題として議論を進める。
- (2) 子ども議会の開催
 - ・ 町政施行70周年記念事業の一環として、令和7年度に開催予定。関係機関と協議を重ね実施スケジュールを作成する。今後は毎年開催も検討していく。
- (3) その他
 - ・ 委員会の傍聴について町民への周知が不十分との意見を受け、今後検討していく。

町政 ここを問う!

12月定例会では11議員が20問の一般質問を行いました。

一般質問とは、議員が町長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて所信や疑問をただし報告や説明を求めることです。

ページ	質問者	質問事項
11	内山 英作	・外出時、交通手段の整備状況は ・日野川堤防の破堤対策は ・自治会活動をどうするの※
12	鎌田 勝治	・「国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会」開催の影響は ・带状疱疹ワクチンへの助成は
13	大橋 裕子	・竜王町北部地域の開発は ・新たなこども施策の取組は ・子どもたちの視力状況と対策は※
14	磯部 俊男	・季節性インフルエンザの発生状況と予防対策は
	三宅 政仁	・粗大ごみの拠点回収の対応は
15	橘 せつ子	・「保険料水準の統一化」で国民健康保険税は ・誰もが安心して利用できる介護保険制度に ・包括的性教育と学校教育の中での取組は※
16	若井 政彦	・若者定住・人口減少歯止めの取組は ・令和6年度予算編成は
17	中村 匡希	・フリースクールへの思いと支援策は ・空き家対策に具体的な目標を
18	澤田 満夫	・「竜王町バイオマス産業都市構想」の取組状況は
	山田 義明	・惣四郎川の改修は
19	森島 芳男	・今年6月の町長選挙出馬は

各議員のQRコードを
スマートフォンで読み
取ると音声配信が聴け
るよ



近江うし丸

※紙面の都合上、掲載しておりません。

QRコードから、全ての質問がお聴きいただけます。

**次回の一般質問は
令和6年3月18日(月)予定**

議員の質問順と質問事項は町ホームページでご確認ください。

問 議会事務局 電話 0748-58-3713



うちやま えいさく
内山 英作 議員



問 外出時、交通手段の整備状況は

答 交通ネットワークの構築を目指す



運転ボランティア募集（スマイル）

問 竜王町で生活をする上での課題の一つに、町内の誰もが安心して気軽に、中心核地域、運動公園、道の駅、アウトレットモール、他の集落などへ移動ができる交通のネットワークの整備が必要である。そこで、交通手段の環境整備に向けての今日までの取組と今後の施策を伺う。

答 今日まで、路線バスの維持・活性化と子育て支援を目的に通学定期の

半額補助、各路線の最終便に利用できる「夜間特別便」の運行などに取り組んできた。

今後については、「竜王町地域公共交通計画」の作成を進め、将来にわたって持続可能な移動サービスを確保するため、本町の利用実態に見合った効率的な交通体系を整え、需要に合わせた適切な改善等に取り組むことにより、町民の暮らしを支える交通ネットワークの構築を目指す。

問 日野川堤防の破堤対策は

答 流化能力を確保し、大水時の水位上昇を抑える

問 平成25年9月の台風18号により、日野川安吉橋での水位が6mを超え、弓削地先で堤防が破堤寸前であったが、最悪の状況は回避できた。日野川堤防の浸食や浸透などにより、年々老朽化、弱体化が進んでいることは確かであり、10年前の水害は、近い将来の日野川堤防決壊の兆候であると思っている。

答 そこで、沿川自治会への平時と災害時の予防対策を伺う。

答 町の沿川自治会と連携した予防対策として、河川愛護活動を通じた竹林伐採や除草などの維持管理がある。河川内の維持管理を行うことにより、流下能力を確保し、大水

時の水位上昇を抑え、ひいては決壊のリスク低減につなげていきたいと考えている。

また、災害時において命を守る第一の行動として住民の早期避難が重要な避難行動などにつなげていけるよう整備を行う。

裏法面の土砂崩落場所



平成25年9月の台風による破堤寸前の日野川堤防

問「国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会」開催の影響は

答 最小限の影響にとどめるよう努める



かまだ 鎌田 かつじ 勝治 議員

問 表題の件に関し、次の5点を伺う。

- ①使用制限は総合運動公園施設の全面か一部か。また、その期間。
- ②現在、定期利用している団体(個人)の数は。
- ③当該団体(個人)への周知方法とその時期。
- ④現時点で代替利用場所などの相談にきた団体(個人)は。
- ⑤影響を受ける団体(個人)へのサポートをどう考えているか。

②ドラゴンハットと体育館が6団体、弓道場が2団体、自由広場が1団体の計15団体。個人利用は詳細が不明。

③ドラゴンハットについては電話や通知で、その他の施設は令和6年10月までに町広報、しるみる竜王、地域振興事業団HP、張り紙、区長会等できる限りの方法をもって周知する。

④ドラゴンハットを定期的に利用している2団体から相談あり。

⑤芝生広場を代替場所として地域振興事業団と調整協議を進めている。

答 ①ドラゴンハットは、屋根の改修工事期間の令和6年11月から令和7年2月末までと、大会の影響により令和7年3月から令和7年10月末の最大1年間に全面使用停止。その他の施設は令和7年5月から順次使用制限を



総合運動公園の全景

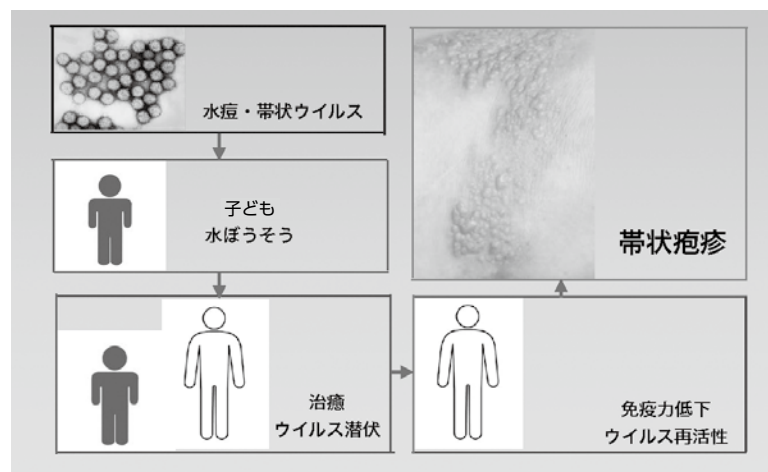
問 たいじょうほうしん 帯状疱疹ワクチンへの助成は

答 ワクチン助成事業の制度化に向けて研究を進める

問 带状疱疹は、発症すると、皮膚の症状だけでなく神経にも炎症を起こし痛みが現れ、皮膚症状が改善した後も50歳以上で約2割が带状疱疹後神経痛などを発症し、数か月から数年も痛みが続くこともある。厚生労働省では既存のワクチン接種を推奨しているが、国の補助はなく、各自治体の裁量に委ねられている。ついては、ワクチン接種事業の実施可能性を伺う。

クチン接種費用が全額自己負担となっていることから、住民からの助成事業の問い合わせや医療機関からも制度化の必要性について、意見が上がっている。町としてもワクチン接種の必要性を認識しており、接種費用助成の制度化について事業規模、予算等の更なる研究を進めたい。

答 带状疱疹については、予防、早期発見、早期治療が重要とされているが、それに加えて予防接種としてワクチン接種が発症率の低減、重症化予防に有効な手段と認識している。ただ、このワ



带状疱疹は、子どもの時にかかった水痘ウイルスが神経の中に潜んでいて、免疫力が落ちた時(例えば感冒)に再活動を始め神経を伝わって、発疹が帯のように現れる。

带状疱疹の発症例



おおはし ゆうこ 議員
大橋 裕子



問 竜王町北部地域の開発は

答 道の駅を中心とした
まちの魅力を高める土地利用をする

問 竜王町北部地域は国道8号がはしりJR篠原駅に最も近く、竜王町北の玄関とも云える。また源義経元服池や万葉ロマンの鏡神社等、歴史的観光資源があり町の活性化につながる要素がある。道の駅竜王かがみの里周辺を含めた北部地域の開発を伺う。

答 竜王町北部地域は、道の駅を中心とした観光・交流拠点や、産業拠点、新生活拠点の配置により、活力の創出と生活利便性の向上を図るとともに、歴史や文化に富む地域性を活かし、まちの魅力を高める土地利用を進める。



北部開発の中心となる道の駅竜王かがみの里

年10月に予定。この土地利用構想については、令和3年度に発足した機能拡充検討会議で、定住促進エリアと交流促進エリアの複合機能による土地活用につなげ、具体的実現策の検討を行っている。一方、町道山面鏡西線工事の進捗状況と連携し、今後も地元と情報共有し進めていく。

① 昨年10月からスタートした「竜王町就学前児童誕生日祝金事業」では子どもが就学するまで誕生祝をするともに、「伴走型支援」を実施している。引き続ききめ細やかな支援の

問 昨年4月、こども家庭庁設置に伴い、本町でも「こども家庭支援室」が健康推進課内に設置され、「こどもまんなか社会」実現の取組が進められている。その一環で11月23日、町公民館で「竜王町こどもまんなか会議」が開催された。

問 新たなこども施策の取組は
答 「伴走型支援」を実施する

② 「竜王町こどもまんなか会議」ではまちの魅力を発信したワークショップから「竜王町探検キャラクターマップ」が作成されたり、充実を図る。

企業とのコラボによる情報発信案が提案された。会議を重ね、子ども意見を施策に活かす仕組みづくりを進めていく。



「竜王町こどもまんなか会議」参加者のみなさん

問 季節性インフルエンザの発生状況と予防対策は

答 基本的な感染対策の啓発に努める



いそ 俊男 議員
磯部 としお

予防対策は各校において毎朝の健康観察の徹底。保健だよりによる予防啓発の実施と手洗い、うがい、咳、消毒、換気等の指導および必要に応じてマスク

① 昨年11月9日竜王小学校で感染、発熱等により欠席者が全校379人中29名となり、欠席者の多かった3、4年生で学級閉鎖措置。11月中旬以降両小学校、中学校での感染拡大により学級閉鎖の措置。12月に入り中学校においては感染拡大により学級とともに、学年閉鎖措置を実施。子ども園においては11月8名、12月1名で感染拡大は認められていない。

問 ① 季節性インフルエンザの発生状況と予防対策は。
② 高齢者のインフルエンザのワクチン接種状況と感染状況は。



小学校での手洗い消毒の徹底

着用の呼びかけを継続して行っている。
② 65歳以上対象のインフルエンザワクチンの接種状況は11月末で2030人で接種率は56%。最終的には62%を見込んでいる。
感染状況は県下全体で患者報告数が27・70人で東近江保健所管内は40・90人となっている。町内医療機関からも一日40名以上の発熱外来者の情報もあり本町も警戒レベルの状況にある。引き続きワクチン接種の勧奨とともに手洗い、手指消毒、咳エチケット等の基本的な感染対策の啓発に努める。

問 粗大ごみの拠点回収の対応は

答 搬入許可申請書の提示を依頼している



みやけ まさひと 議員
三宅 政仁



町による粗大ごみの拠点回収

問 町が対応している粗大ごみの拠点回収は、毎年11月と2月に行われる。しかし、令和3年度に町内企業の社員寮で発生した粗大ごみを、代理者として寮務長が収集日に指定場所へ持ち込んだところ、本人同席の上でなければ次回から引き取れないと注意を受けた。

答 粗大ごみの拠点回収は、町内家庭から発生した可燃性ごみ及び不燃性ごみを対象とし、それぞれ持ち込み可能な品目を定め、町有地にて実施している。拠点回収の会場への搬入車両については、私有車による個々の持ち込みを基本としているが、自治会で各区の粗大ごみ搬入許可申請書を取りまとめ、自治会役員が運搬し搬入することも可能としている。



橘 せつ子 議員



問「保険料水準の統一化」で 国民健康保険税は

答 急激な上昇とならないよう検討する



国保税は令和11年度には県内統一

問 滋賀県は国民健康保険料（税）を令和6年から6年間で目標に、県内どこに住んでも同じ所得水準かつ世帯構成なら同じ保険料に統一するとしている。今後、受診や医療給付状況とかけ離れた値上げが懸念される。そこで次の2点を伺う。

① 竜王町の国保税は今後どうなるのか。

② 子どもの均等割は未就学児の5割が公費で軽減されたが、高校卒業まで対象とするべきと思うが。

答 ① 滋賀県国民健康保険運営方針では「原則として令和9年度の統一を目指す。ただし、市町の財政状況等により、令和11年度まで移行期間を設ける」予定。町は令和6年度の標準保険料率の状況や統一の動向を見て、国保税負担の急激な上昇とならないよう国保基金の繰入も考慮し検討する。

② 国民健康保険市町連携会議でも対象範囲や軽減割合の拡充について検討しており、国への要望を行っている。町独自の取組としては、子ども施策の中で今後研究していく。

答 ① 現時点で変更は決定されていない。

問 介護保険事業は令和6年が3年毎の見直し時期となっており、竜王町でも現在、第9期介護保険事業計画の作成中と伺っている。

そこで次の点を伺う。

① 計画ではどのようなところが変わるのか。

② 介護給付の拡充は図られるのか。

③ 介護の人材確保に向けての対策は。

④ 介護の利用にかかる自己負担の軽減は。

⑤ 介護の基金運用により、介護保険料の引き下げを検討するべきと思うが。

① 現時点で拡充される介護給付事業はない。

② 令和3年度から介護人材定着促進事業を行い、介護職員向けキャリアアップ研修会、資格取得、外国人労働者雇用への補助金を実施している。また、国で議論している介護報酬地域区分の特例給付に期待している。

③ 低所得者や一か月の利用額が高額の方には負担軽減措置を設けている。

④ 介護保険料は、人口推計、被保険



おたっしや教室で介護予防

問 誰もが安心して利用できる
介護保険制度に

答 保険料伸びの抑制を配慮し
基金運用を判断する

者数、認定率、サービス見込み量、報酬改定等を推計し、一号・二号保険料の伸びの抑制等を配慮して基金運用を判断していく。

問 若者定住・人口減少歯止めの取組は

答 将来目標人口等の達成を目指し取り組む



わかひ まさひこ
若井 政彦 議員



住みたい、住んでよかった竜王町へ

問 第六次竜王町総合計画基本施策の目標値達成への検証など、後期基本計画の実践・実現に向けた重要な時期となるが、この間の取組と現時点での効果について伺う。

答 令和4年からシティプロモーション事業を開始し、町のPR動画を作成するなど、様々な機会や媒体を通じて町の魅力発信を行っている。人口の転入・転出によ

る社会動態では、令和4年末の実績値は前期基本計画の目標水準に達している。しかし、出生・死亡による自然動態は、前期基本目標数値に対して令和4年末の実績値と大きな開きがある。今後は、基本施策の検証や見直しを継続し、中心核整備事業等を着実に進めることにより、若者定住や人口減少の歯止めを図り、だれもが住み続けたいと思えるまちの実現を目指す。

問 令和6年度予算編成について伺う。

答 ①町税収入は、令和5年度当初予算と比べ増加は見込めない。
②中心核整備を最優先事項とし、竜王小学校建設をまちづくりの柱として、重点的かつ着実に事業を展開していく。
③こどもまんなかの町を目指し、路線バス通学定期運賃補助や就学前児童誕生日祝金事業、こども新生活応援事業等を引き続き進める。

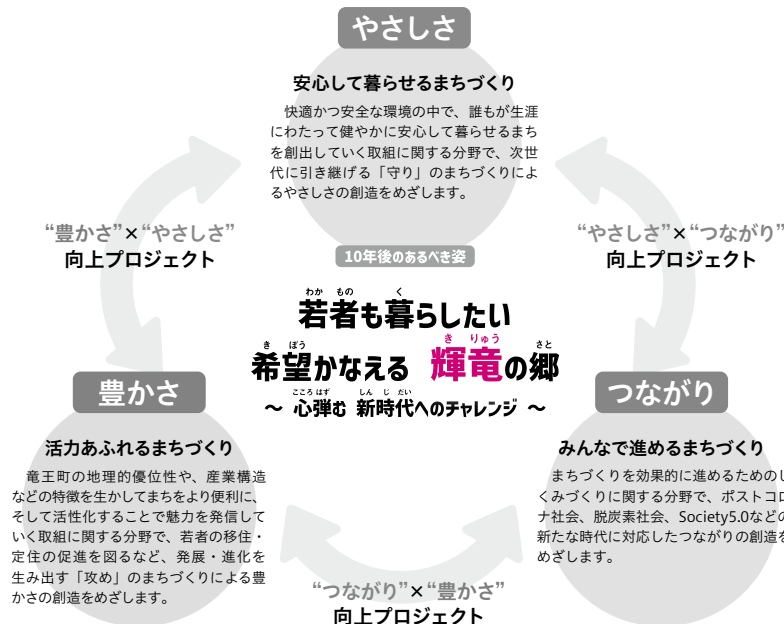
問 令和6年度予算編成について伺う。

答 ①歳入確保と歳入見込みは。
②新たな事務事業は。
③住民負担軽減は。
④質の高い行政サービス、円滑な行政運営への体制整備は。

問 令和6年度予算編成は

答 住民サービス向上に向け検討する

④効率的な行政運営や人材育成を積極的に進める。



「豊かさ・やさしさ・つながり」の重点プロジェクトを推進



なかむら まさき
中村 匡希 議員



問 フリースクールへの思いと支援策は

答 学びの場のひとつ
県の補助制度の活用も検討する



町公民館でのフリースクール

問

① フリースクールの見解は。

② 現状と今後の計画は。

③ 適応指導教室に來られない児童生徒にとってフリースクールの位置づけは。

④ 今後どのような支援を考えているか。

答

① 教育機会のセーフティネットとして大変重要な役割を果たしている

と捉えている。

② フリースクールに通う児童生徒の出席状況等を確認し、学校、教育委員会と共有するこ

とで連携を密にしている。

適応指導教室での支援を充実させるための検討会議を自立支援課と定期的に行っている。

③ フリースクールも「学び」の場として認識している。子どもたちの進路や社会的自立を支援していくため連携を図っていく。

④ 令和6年度からフリースクールの費用助成に對して県が財政支援を行うことが示されており、県の原案を精査し今後の補助制度のあり方を検討していく。

問

空き家対策に具体的な目標を

答

計画期間を延長し
新制度の活用も視野に入れる

問

令和6年3月で本町の空家等対策計画の計画期間が終了する。

① 具体的な目標を盛り込んだ実施計画の策定は。

② これまでの課題と今後の展望は。

が登録件数は低調である。福祉部門と連携し発生予防の講座を開くなど、所有者意識を高める取組を行っている。

令和5年12月に空家

等対策の法改正がされ、民間法人を自治体が指定し活用や管理を支援する制度ができた。新制度の活用も視野に入れ、次期計画に反映させたい。

① 計画期間を1年延長し、国の法改正に伴う新制度を反映させていきたい。アクションプログラムは策定しており業務上の指針としてあるが広く公開には至っていない。計画の更新に合わせて見直しを考えている。

② 地域性として土地・建物を手放すことへの抵抗感が強い。令和3年に「空き家・空き地情報バンク」を開設した



利活用される以前の林地先の「ひだまり学舎」

問「竜王町バイオマス産業都市構想」の取組状況は

答 バイオガス実証実験に取り組んでいる



さわだ 澤田 みちお 議員



キャベツ栽培の実証実験

答 ①本構想は、令和4年9月に策定した「耕・畜・工連携によるバイオマス資源の循環」を目指すものである。その内のバイオガス化プロジェクトは、令和6年度末の実施設計をめぐり、耕種農家、畜産農家間と連携しながら自動車製造会社で取り組まれている。現在、牛糞の発酵によるバイオガスの発生実験、バイオ堆肥の分析とキャベツ栽培での実証実験を行い、令和6年には水稲の新品種「きらみずき」での実験を行う。

②施設周辺の環境課題は、畜産農家からプラントまでの家畜排泄物の輸送時や体制、バイオ堆肥の臭気対策等が該当すると考える。今後は、研究開発や現地ほ場での実験結果を踏まえ構想推進組織である協議会で環境課題も共有していく。

問 「竜王町バイオマス産業都市構想」のバイオガス化の工程について伺う。

①現在の進捗状況は。

②施設周辺の環境課題は。

問 惣四郎川の改修は

答 県へ計画的な改修要望を行う



やまだ 山田 よしお 議員



河床に隙間ができた基礎部分



改修中の基礎部分

答 堤防護岸は、経年劣化や老朽化が進行し、損

問 町の中心核を流れる惣四郎川は、流れも速く、川幅も狭いため河床をえぐられやすい。

近年この川では毎年のごとく堤防護岸部の崩落による現状復帰工事が目立つが、工事方法の見直しが必要であると考えます。

それには、護岸壁の基礎部分は基礎杭打ちを行い、河床洗掘を防ぐ根固め工の施工も必要である。

併せて、改修計画があるのか伺う。

傷も見受けられる状況である。

河川管理者の滋賀県は、過年度より損傷の著しい箇所から優先的に改修している。

工法について一般論として基礎部の下に杭を打つ工法は、地盤が軟弱である場合の対策として効果があり、根固め工は、河床の洗掘を防止するのに有効である。

改修計画は定めがなく、本町としては、県に堤防損傷箇所等の早期修復とともに惣四郎川の全域を通した計画的な改修要望を行っていく。



もりしま よしお
森島 芳男 議員



問 今年6月の町長選挙出馬は

答 引き続き町政を担いたい



西田町長出馬表明

問 西田町長は今年6月に執行予定の町長選挙の出馬について、どのように考えているのか。

答 私の主要課題は「安全、安心なまちづくり」「人口減少・少子高齢化の克服」だった。以来、日野川の河川改修は善光寺川から上流部への改修計画の延伸と大きく前進した。

進んできた。また、令和7年第79回国民スポーツ大会が本町で開催され、スポーツクライミング競技はわが町初の大会開催で成功させたい。併せて同年に町政70周年を迎える。「竜王町に住んで良かった」と実感いただき、新たな時代への変革や発展の契機としたい。そして、「子育てするなら竜王町」のまちづくりに努めたいと考える。

町民の皆様のご理解とご支援をいただければ引き続き町政のかじ取りを担わせていただき、各施策の実現に確かな道筋を付けたい。

「伝える」から『伝わる』議会広報紙に

議会広報研修会へ参加

昨年11月22日、日野町で滋賀県町村議会議長会主催の広報研修会が開催された。竜王町から広報委員6名、事務局職員1名が参加した。町民に『伝わる』広報紙作成のポイントについて学び、今後の議会だより発行の参考になった。



熱心に研修を受ける広報委員



議会だよりの編集作業をする6名の広報委員

気軽に相談ください

竜王町民生委員児童委員協議会 会長 小林 江里子

私たちは36名で活動しています。職務は一口で言うならば地域住民さんと行政や関係機関とのつなぎ役です。住民の皆さまに積極的に声をかけ、社会とのつながりを持ちながら生活していただくよう努め、小さな子どもたちがすくすくと成長できるよう見守りをしています。

厚生労働省から委嘱を受けていますが、報酬はありません。私たちの一番の報酬は、皆様の笑顔と悩みから解放された時の安堵されたご様子です。一人で抱えるにはつらいことも私たちに相談ください。

民生委員制度は創設から100年を経た日本が世界に誇れる素晴らしい制度です。昨今は、なり手確保に悩むことも多く皆様のご協力ご支援よろしくお願い致します。



表紙

笑顔でバイバイ

竜王町社会福祉協議会では毎週月曜日から金曜日まで町保健センターで「こどもひろば」を開催しています。未就園児とその保護者さんたちが集まり、子どもたちは分け隔てなくふれあい遊んでいます。

最初はカメラを向けられて緊張していた様子の子どもたちも、最後には手を振って「バイバイ」と笑顔を返してくれました。子どもたちの無邪気さに癒やされつつも、子どもたちの明るい未来に責任を感じる時間でした。



編集後記

第18期竜王町議会がスタートしました。選挙は無投票という結果でしたが気持ちを引き締めて活動をしていく覚悟です。

さて昨年末から町内の大手自動車メーカーのニュースが大きく報じられています。竜王町も大きな影響を受けることが考えられますが、本町の発展に長年、貢献をいただいていたメーカーが一日も早く生産・出荷を再開されることを切に願っています。

人口減少や少子高齢化の対策、中心核整備事業など、竜王町にはこれから課題や道半ばの事業が多くあります。議会と行政は「一歩離れて二歩は離れるな」という姿勢のもと、今後もチェックを行い議員も襟を正してまいります。

議会広報特別委員会

委員長	内山 英作
副委員長	橘 せつ子
委員	中村 匡希
委員	大橋 裕子
委員	澤田 満夫
委員	磯部 俊男